



# 先輩職員インタビュー

## 市民からも、職員からも信頼してもらえる市職員に



【現所属】 建設水道部 都市計画課

### 経歴

○入庁前 民間で6年間勤務  
○令和5年4月1日入庁 建設水道部 都市計画課

### 主な業務

都市計画法、屋外広告物に係る業務



### どのような時にやりがいを感じますか？

民間の方が、店舗などの建築物を新たに市内に建てようとする際、窓口にご相談にいらつしゃいますが、都市計画法に關係する説明や届出の処理等を行ったのち、自分が携わった案件が実際に形になったときにやりがいを感じますし、市の都市計画という未来を見据えたまちづくりを考えられることもやりがいのひとつです。

### 今後について

現在の部署での業務に必死に取り組む、日々先輩方から知識を吸収していきたいです。  
これから異動を重ねるたびに、新たな知識が増えていくことで、より多角的な視点で物事を考えることができるようになり、先輩や後輩からも信頼されるような職員に成長していきたいと思えます。

### 入庁前後の印象を教えてください

市役所と言えば市民課のような窓口業務をイメージしていましたが、実際には多種多様な業務があり、市民の方々からは直接的には見えにくい幅広い仕事をしていることに驚きました。  
社会人を経ての採用でしたので、同期の中では一番の年長だと思いついていましたが、同期入庁者の半数近くが中途採用者で、年齢的には真ん中くらいであったことが印象的でした。

### 上司からの一言

社会人経験からの入庁であり、即戦力として力を発揮してくれています。窓口応対も丁寧で、安心して任せることができます。分からないことや疑問に思うことは、先輩職員に積極的に相談し、自分の担当業務に責任をもって仕事をしています。  
また、育児休暇を取得するなど、積極的に家事育児に協力しているようであり、家族との時間を大切にしている様子が見えます。  
これからも大田原市の職員として仕事もプライベートも充実した日々を送ってほしいことを期待しています。

### 市役所試験ではどのような対策をしましたか？

転職を決めたのが4月頃で、1次試験は働きながらの勉強となったため、数的処理と判断推理に分野を絞って勉強しました。2次試験は、SNS等で面接対策の動画を参考にしながら、実際に声に出してみたり、友人に面接練習を手伝ってもらったりしました。人生初の面接試験でしたので、初めは声が震えてしまいましたが、多くの質問を想定して練習していたので、その後は落ち着いて臨むことができました。

### 受験生へメッセージ

受験前は、新卒以外が合格することは難しいと思っていましたが、実際は市役所内に多くの中途採用者がいます。社会人経験者であっても、ぜひ受験を考えてみてください。  
私には、1歳の娘がおり、急な休暇をいただくこともありませんが、嫌な顔一つせずサポートして下さる同僚の方々にとても感謝しています。男性でも育児休暇が取りやすく、働きやすい環境が整っているため、受験する際の参考材料になればと思います。